「板橋区スマートシティ推進方針2035」の概要

第１章 方針の概要

１　背景と目的

- 平成29年3月に「板橋区スマートシティ推進方針」を策定し、様々な分野を包括した取組を推進。
- 社会情勢の変化や、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、「板橋区らしいスマートシティ」のさらなる発展と深化をめざすとともに、関連する取組を効果的かつ実践的に推進していくため、令和8年度を始期とする「板橋区スマートシティ推進方針2035」を策定する。

２「板橋区らしいスマートシティ」の基本的視点

① ウェルビーイングの向上
技術導入にとどまらず、区民一人ひとりの実感・満足度を起点に、暮らしの質を高める。

② 地域資源の最大活用
板橋区の特性、強みとなる地域資源を最大限に活かす。

③ 環境と共生する持続可能なまちづくり
人と自然の調和を大切にし、次世代へ引き継げるまちづくりの視点で進める。

３　位置づけと期間

位置づけ：
「板橋区らしいスマートシティ」を推進するうえで、区民・企業・地域団体など多様な主体と共有する将来像・方向性を示し、分野横断的な取組の共通基盤とする。

期間：概ね10年（令和8年度～17年度）

第２章 現状と地域資源を踏まえた課題整理

１　区の現状と地域資源の分析

区の現状、区民・事業者等のニーズ、地域資源、前方針の成果・課題を総合的に分析し、本質的な課題を抽出。それを踏まえ、スマートシティ推進の将来像と方向性を整理。

② 地域資源の最大活用

●板橋区の地域資源とポテンシャル

区がこれまで培ってきた多様な地域資源と、それらがスマートシティ推進におけるポテンシャルとしてどのように活用できるかを整理

地域資源	文化や歴史	自然や公園	地域の営み	子育て環境	子どもを支える環境	楽しく学べる施設	安全・安心	ウェルビーイング	暮らしやすさ

スマートシティの実現に向けて
「板橋区らしさ」を構成する５つのキーワード

- 自然と環境が調和するまち
- 学び・しごとの循環
- 安心して暮らせるしくみ
- 便利で住みやすい生活環境
- 地域文化とつながり

地域資源の具体例

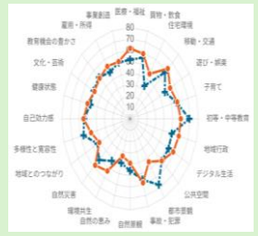

高島平地域


MFLP・LOGIFRONT 東京板橋

アンケート調査＆事業者ヒアリング

・アンケート調査
　地域課題の解決を最優先すべきとの回答が最多
・事業者ヒアリング
　行政内部の部署間連携や対話の場の充実を期待

① ウェルビーイングの向上



【ウェルビーイング指標】
区民の実感（主観）と統計データ（客観）をレーダーチャートで可視化。実感に基づく施策展開により、区民のウェルビーイング向上に寄与

③ 環境と共生する持続可能なまちづくり

ゼロカーボン いたばし2050

公共施設の多くが更新時期を迎える中、進展中の市街地再開発事業を好機に、2050年カーボンニュートラルをめざす持続可能な都市基盤の構築が求められている

２ スマートシティ推進における課題

ウェルビーイングの向上

スマートシティの具体的な効果を実感できる施策の展開と、誰もがデジタル技術の恩恵を享受できる環境づくりが重要。

多様な主体との協働・共創

地域の課題解決に向けた協働を効果的に進めるため、参画しやすい環境整備と、継続的・包括的な連携体制の構築が必要。

持続可能な都市基盤の構築

脱炭素社会への移行を見据え、IoTやデータ活用による施設管理の効率化・エネルギー最適化を図り、環境と技術が調和した持続可能な都市基盤への転換が必要。

推進体制の強化

部門横断的な推進体制の強化とデータ利活用基盤を整備し、施策の継続性・拡張性の確保と区民・事業者の利便性向上を図ることが必要。

第３章 将来像と方向性

１　将来像

課題を価値に変え、未来をひらく
～協働・共創とデジタル技術等で実現する、環境と共生する持続可能なまちづくり～

２　将来像を実現する３つの方向性

ウェルビーイング

デジタル技術の活用による区民幸福度の向上

デジタル技術を戦略的に活用し、多分野での最適化と横断的な連携を進めます。個別最適から全体最適へと発展させ、価値を可視化することで、区民一人ひとりのウェルビーイングを高め、便利で快適なスマートシティを実現します。

協働・共創

地域資源を活かした多様な主体との協働・共創

区民、企業、地域団体などの多様な主体との協働・共創により、地域の課題解決と新たな価値創造を推進します。各主体が持つ知見・技術・ネットワークを活かし、地域の実情に即した実効性の高い取組を展開します。

まちづくりの価値創造

持続可能な都市基盤の構築による地域価値の創造

豊かなみどりや水辺環境などの地域資源を保全・活用しながら、脱炭素社会を見据えた持続可能な都市基盤を構築します。省エネ・再エネ・資源循環を推進し、地域全体の価値と魅力を高めます。